

アクションプログラムに基づく個別の取組みの進捗状況（17年4月～18年3月）

「進捗状況及び進捗状況に対する分析、評価、今後の課題」

項 目	17年4月～18年3月の進捗状況	進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題	
		17年10月～18年3月の進捗状況	
1. 事業再生・中小企業金融の円滑化			
(1) 創業・新事業支援機能等の強化			
①融資審査態勢の強化等	<ul style="list-style-type: none"> ・業種別担当者2名が「日利き業種別経営支援講座」を受講修了しました。(17年9月) ・創業・新事業支援等の強化 創業・新事業・経営革新支援制度融資実行 67件 752百万円 (うち「新進企営」21件 163百万円) 内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・サービス業 23件 315百万円 ・飲食業 22件 200百万円 ・不動産業 1件 4百万円 ・卸小売業 10件 83百万円 ・製造業 10件 143百万円 ・運輸業 1件 5百万円 ・金沢商工会議所主催の「創業塾」に参加し、融資先として3先認定しました。(17年10月) ・創業・新事業案件会議「サポートデスク委員会」を10回開催し、融資先として15先認定しました。 ・創業・新事業のモニタリングを32先実施しました。 ・営業店との連携による企業訪問を実施しました。 審査担当者 5名 企業訪問合計数 95先 ・営業店統括に「法人担当」を配置しました。 (17年4月) 法人担当融資開拓実行 22件 1,095百万円 内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・建築業 7件 459百万円 ・製造業 6件 162百万円 ・卸小売業 5件 416百万円 ・運輸業 1件 24百万円 ・サービス業 3件 33百万円 ・営業店統括の「法人担当」による実践的な法人融資開拓の推進スキル等の研修を17年10月6日より18年2月9日の間、計17日間、本店営業部他10エリアセンター（24店舗）で渉外担当者を対象に実施しました。 ・審査能力向上のため外部研修の「企業調査講習会」に、審査担当者2名が参加しました。 (17年10月、12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業・新事業支援等の強化 創業・新事業・経営革新支援制度融資実行 33先 425百万円 (うち「新進企営」11件 106百万円) 内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・サービス業 14件 215百万円 ・飲食業 10件 107百万円 ・卸小売業 4件 50百万円 ・製造業 5件 52百万円 ・金沢商工会議所主催の「創業塾」に参加し、融資先として3先認定しました。(17年10月) ・創業・新事業案件会議「サポートデスク委員会」を6回開催し、融資先として11先認定しました。 ・創業・新事業モニタリングを20先実施しました。 ・営業店との連携による企業訪問を実施しました。 審査担当者 5名 企業訪問合計数 95先 ・営業店統括「法人担当」融資開拓 法人担当融資開拓実行 12件 225百万円 内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・建築業 3件 50百万円 ・卸小売業 2件 39百万円 ・製造業 4件 102百万円 ・サービス業 3件 33百万円 ・営業店統括の「法人担当」による実践的な法人融資開拓の推進スキル等の研修を17年10月6日より18年2月9日の間、計17日間、本店営業部他10エリアセンター（24店舗）で渉外担当者を対象に実施しました。 ・審査能力向上のため外部研修の「企業調査講習会」に、審査担当者2名が参加しました。 (17年10月、12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢商工会議所主催の「創業塾」に参加し、事業創業者のビジネスプランのプレゼンテーションを通し「日利き」能力を高めるとともに、創業者支援により地域社会に寄与します。 ・創業・新事業案件会議「サポートデスク委員会」を積極的に開催し、融資判断能力を高めます。 ・営業店との連携による企業訪問を下期より実施し、経営者面談による「日利き」能力の向上を図ることができました。 ・営業店統括の「法人担当」は営業店渉外役席と帯同訪問し、資金需要の発掘ノウハウのレベルアップに努めます。

項 目	17年4月～18年3月の進捗状況		進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題
		17年10月～18年3月の進捗状況	
②産学官の更なる連携強化等	<ul style="list-style-type: none"> ・「北陸ライフケアクラスター研究会 (HLC)」の総会に当金庫役員が参加しました。(17年6月) ・「北陸地区産業クラスターサポート金融会議」に参加しました。(17年6月、18年3月) ・「北陸ライフケアクラスター研究会 (HLC)」が当金庫主催「きんしんビジネスフェア2005」に出店しました。(17年10月) ・北陸ものづくり創生協議会主催の「第一回ビジネスマッチングフェア」に参加しました。(17年11月) ・北陸ものづくり創生協議会主催の「ライフケア産業振興セミナー」に参加しました。(18年1月) ・経済産業省等主催の「北陸地域知的財産戦略セミナー」に参加しました。(18年3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「北陸ライフケアクラスター研究会 (HLC)」が当金庫主催「きんしんビジネスフェア2005」に出店しました。(17年10月) ・「北陸地区産業クラスターサポート金融会議」に参加しました。(18年3月) ・北陸ものづくり創生協議会主催の「第一回ビジネスマッチングフェア」に参加しました。(17年11月) ・北陸ものづくり創生協議会主催の「ライフケア産業振興セミナー」に参加しました。(18年1月) ・経済産業省等主催の「北陸地域知的財産戦略セミナー」に参加しました。(18年3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「北陸ライフケアクラスター研究会 (HLC)」に人材派遣を実施しました。 ・ベンチャー企業への融資支援については、新商品「きんしん産業クラスター計画支援ローン(仮)」の発売により積極的に対応します。 ・各種会議に積極的に参加し、情報の収集と活用を図ります。
③地域におけるベンチャー企業向け業務に係る外部機関等の連携強化等	<ul style="list-style-type: none"> ・「福祉医療機構」と業務提携を行いました。(17年5月) ・石川県信用保証協会主催の「マル保融資と実務セミナー」に参加しました。(17年5月) ・「中小企業基盤整備機構」と業務連携を行いました。(17年8月) ・県商工会連合会と「商工貯蓄共済制度に係る改正」について会合を3回行いました。(17年7月、9月、10月) ・信金中央金庫主催の「SDBセミナー」に参加しました。(17年5月) ・金沢商工会議所主催の「創業塾」に参加し、融資先として3先認定しました。(17年10月) ・当金庫主催の商談会「きんしんビジネスフェア2005」を開催しました。(17年10月) 於：県産業展示館3号館 出展企業・団体 138社 フェア参加者 約2,800名 当日商談件数 1,688件 成約件数 106件 開催後のフォローアップによる成約件数 112件 ・石川県産業創出支援機構主催の「経営セミナー」に参加しました。(17年11月) ・(株)整理回収機構主催の「整理回収機構の機能活用セミナー」に参加しました。(18年2月) ・北陸財務局主催の「日中経済融合における企業戦略セミナー」に参加しました。(18年2月) ・金沢商工会議所主催の「制度金融と再生支援セミナー」に参加しました。(18年3月) ・日本PFI協会主催のPFIセミナー「民間発案型のPFI方式の新たな展開」に参加しました。(18年3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢商工会議所主催の「創業塾」に参加し、融資先として3先認定しました。(17年10月) ・当金庫主催の商談会「きんしんビジネスフェア2005」を開催しました。(17年10月) 於：県産業展示館3号館 出展企業・団体 138社 フェア参加者 約2,800名 当日商談件数 1,688件 成約件数 106件 開催後のフォローアップによる成約件数 112件 ・(株)整理回収機構主催の「整理回収機構の機能活用セミナー」に参加しました。(18年2月) ・北陸財務局主催の「日中経済融合における企業戦略セミナー」に参加しました。(18年2月) ・金沢商工会議所主催の「制度金融と再生支援セミナー」に参加しました。(18年3月) ・日本PFI協会主催のPFIセミナー「民間発案型のPFI方式の新たな展開」に参加しました。(18年3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部機関との提携を予定どおり実施しました。今後も連携を密にして積極的に取組みます。 ・金沢商工会議所主催の「創業塾」に参加し、事業創業者のビジネスプランのプレゼンテーションを通し「目利き」能力を高めるとともに、創業者支援により地域貢献に寄与します。 ・「きんしんビジネスフェア2005」については出展企業間の商談、成約等に予想を超える成果がありました。今後もビジネスマッチングを推進するために、継続的にフォローアップ、モニタリングを行います。また、ビジネスマッチング活動の促進と定着を図るため、北陸地区の18信用金庫合同でしんきんビジネスフェア「北陸ビジネス街道2006」の開催を予定しています。 ・外部機関等の主催するセミナーや交流会に積極的に参加しました。今後も創業・新事業に係るセミナーには継続して参加します。

項 目	17年4月～18年3月の進捗状況		進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題
		17年10月～18年3月の進捗状況	
(2) 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化			
① 中小企業に対するコンサルティング機能、情報提供機能の一層の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・支店長、渉外代理を対象としたビジネスマッチングコーディネーター研修会を実施しました。(17年6月) ・「中小企業基盤整備機構」と業務連携を行いました。(17年8月) ・当金庫主催の商談会「きんしんビジネスフェア2005」を開催しました。(17年10月) 於：県産業展示館3号館 出展企業・団体 138社 フェア参加者 約2,800名 当日商談件数 1,688件 成約件数 106件 開催後のフォローアップによる成約件数 112件 ・「M&Aセミナー」を開催しました。(17年10月) 講師：信金キャピタル(株) ・「東京ビジネスサミット」に3社合同出展しました。(17年10月) ・中小企業基盤整備機構と連携し、セミナーを開催しました。(18年2月) テーマ：「温泉旅館商店街活性化セミナー」 中小企業基盤整備機構、当金庫片山津支店、片山津商工振興会の3者連携 参加人数 54名 	<ul style="list-style-type: none"> ・当金庫主催の商談会「きんしんビジネスフェア2005」を開催しました。(17年10月) 於：県産業展示館3号館 出展企業・団体 138社 フェア参加者 約2,800名 当日商談件数 1,688件 成約件数 106件 開催後のフォローアップによる成約件数 112件 ・「M&Aセミナー」を開催しました。(17年10月) 講師：信金キャピタル(株) ・「東京ビジネスサミット」に3社合同出展しました。(17年11月) ・中小企業基盤整備機構と連携し、セミナーを開催しました。(18年2月) テーマ：「温泉旅館商店街活性化セミナー」 中小企業基盤整備機構、当金庫片山津支店、片山津商工振興会の3者連携 参加人数 54名 	<ul style="list-style-type: none"> ・「きんしんビジネスフェア2005」については出展企業間の商談、成約等に予想を超える成果がありました。今後もビジネスマッチングを推進するために、継続的にフォローアップ、モニタリングを行います。また、ビジネスマッチング活動の促進と定着を図るため、北陸地区の18信用金庫合同でしんきんビジネスフェア「北陸ビジネス街道2006」の開催を予定しています。 ・中小企業基盤整備機構との業務連携では、片山津温泉で「地域おこし活動の勉強会」を立ち上げ、継続的に参加します。中小企業基盤整備機構の「商店街活性化シニアアドバイザー派遣制度」を活用し、活性化に積極的に取り組んでいます。
② 中小企業支援スキルの向上を目的とした取組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業大学校に職員1名を派遣しました。(17年4月) ・中小企業大学校の入学試験を2名が受験しました。(17年7月) ・北陸地区信用金庫協会主催の「企業ランクアップ講座」、「融資渉外講座」、「企業分析講座」に各々2名が参加しました。(17年5月～10月) ・庫内講師が中小企業再生に関する研修会を開催しました。(17年11月) ・経営改善セミナーを開催し21名が「経営支援アドバイザー（当金庫認定）」資格を取得しました。(18年3月) ・新たに3名の職員が中小企業診断士の資格を取得しました。 ・中小企業診断士資格取得のための通信講座を奨励し2名が受講中です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・庫内講師が中小企業再生に関する研修会を開催しました。(17年11月) ・経営改善セミナーを開催し21名が「経営支援アドバイザー（当金庫認定）」資格を取得しました。(18年3月) ・新たに3名の職員が中小企業診断士の資格を取得しました。 ・中小企業診断士資格取得のための通信講座を奨励し2名が受講中です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善セミナーでは講師による受講者への積極的な指導を行い、「経営支援アドバイザー（当金庫認定）」資格取得者総勢68名を養成し、経営改善の組織態勢の強化を図りました。 ・北陸地区信用金庫協会主催の研修には若手職員が主に参加し、経営改善支援・「目利き」能力向上に努めました。 ・中小企業診断士試験1次合格者に対しては、中小企業大学校入学試験受験を奨励します。

項 目	17年4月～18年3月の進捗状況		進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題
		17年10月～18年3月の進捗状況	
③要注意先債権等の健全債権化等に向けた取組みの強化及び実績の公表等	<ul style="list-style-type: none"> ・経営支援室に中小企業診断士（金庫内）を2名配置し、改善指導の強化を図りました。 ・企業支援先を139先認定しました。うち77先の経営改善計画書を策定し、指導した結果14先の債務者区分がランクアップしました。（改善率 10%） ・企業再生委員会において、決算期を迎えた企業支援先の予算実績管理の検証を33先実施し、うち8先については再策定を指示しました。 ・企業支援先に本部と営業店担当者が連携して訪問、経営者と直接面談を行い、経営実態の把握やモニタリング指導を実施しました。（28先訪問） 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営支援室に中小企業診断士（金庫内）を1名増員しました。（18年3月） ・企業支援先の経営改善計画書を27先策定しました。 ・企業再生委員会で予算実績管理の検証を11先実施し、うち5先については再策定を指示しました。 ・企業支援先に本部と営業店担当者が連携して訪問、経営者と直接面談を行い経営実態の把握やモニタリング指導を実施しました。（18先訪問） 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業診断士（金庫内）を配置し、経営実態の把握やより精緻な経営改善計画書の策定、モニタリングの指導強化を図りました。 ・経営支援室担当者と営業店長の帯同訪問により経営者と面談し、実態把握とキャッシュフローを中心とした財務内容の改善を図り、債務者区分のランクアップに努めました。 ・企業再生委員会では、企業支援先の進捗状況管理表に基づき専門的なモニタリングを行い、営業店に具体的な指導・支援を行いました。 ・経営改善計画書の早期策定にあたっては、経営支援室・営業店一体となって経営者の意識改革と理解を求め、策定のサポート・指導を継続して行います。
(3) 事業再生に向けた積極的取組み			
①事業再生の早期着手に向けた取組みの促進及び多様な事業再生手法の一層の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・㈱整理回収機構、中小企業金融公庫、信金中央金庫から講師を招き、研修会を開催しました。（17年10月） 	・同 左	<ul style="list-style-type: none"> ・DDSの実務知識習得のために営業店長、本部融資担当者を対象とした研修会を開催しました。 ・事業再生ファンドについては、再生手法の多様化の見地から外部機関との業務提携を検討します。
②外部機関の事業再生機能の一層の活用及び金融実務に係る専門的人材・ノウハウの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・RCC債権の肩代り融資の実績は10件で、うち中小企業再生支援協議会等と連携した先は4件でした。 融資実績 10件 570百万円 うち、中小企業金融公庫との協調融資（加賀温泉の再生案件） 1件 275百万円 うち、国民生活金融公庫との協調融資 1件 19百万円 ・中小企業基盤整備機構との連携交流（説明会）を実施しました。（17年8月） ・㈱整理回収機構、中小企業金融公庫、信金中央金庫から講師を招き、研修会を開催しました。（17年8月） ・外部の経営コンサルタントを招き経営改善の手法等、経営改善セミナーを開催しました。（17年10月・12月、18年2月） ・中小企業基盤整備機構、当金庫片山津支店、片山津商工振興会と3者連携により「温泉旅館商店街活性化セミナー」を開催しました。（18年2月） 参加人数 54名 	<ul style="list-style-type: none"> ・RCC債権の肩代り融資の実績は6件で、うち国民生活金融公庫と連携した先は1件でした。 融資実績 6件 152百万円 うち、国民生活金融公庫との協調融資 1件 19百万円 ・外部の経営コンサルタントを招き経営改善の手法等、経営改善セミナーを開催しました。（17年12月、18年2月） ・中小企業基盤整備機構、当金庫片山津支店、片山津商工振興会と3者連携により「温泉旅館商店街活性化セミナー」を開催しました。（18年2月） 参加人数 54名 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業再生支援協議会との連携強化については当金庫紹介による再生案件の実績もあり、今後も連携を密にして積極的に活用していきます。 ・RCC債権譲渡先の肩代りは10件の実績で、うち1件は加賀温泉旅館への取組みでした。今後も再生可能と判断される先については、外部機関と連携し積極的に対応していきます。 ・外部経営コンサルタント等による、金融実務、経営改善手法等の研修会を継続し、「目利き」能力の向上を図ります。 ・業務連携した中小企業基盤整備機構の専門家を招き、お客様を含めて金融実務の研修会を継続開催します。

項 目	17年4月～18年3月の進捗状況		進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題
		17年10月～18年3月の進捗状況	
③再生企業に対する支援融資の拡充	・DIPファイナンス、エグジットファイナンスの導入にむけて、知識習得に努めています。	・同 左	・外部機関から要請があれば、積極的に対応します。 ・外部研修には今後も積極的に参加します。
④再生支援実績に関する情報開示の拡充、再生ノウハウ共有化の一層の活用	・融資実務担当者に対して企業再生事例を紹介する研修会を開催しました。(17年6月) ・(株)整理回収機構、中小企業金融公庫、信金中央金庫から講師を招き、事業再生手法の研修会を開催しました。(17年10月) ・融資実務担当者に対して、再生支援に向けた改善計画書作成手順の説明と企業再生の成功事例を紹介する研修会を開催しました。(17年11月)	・(株)整理回収機構、中小企業金融公庫、信金中央金庫から講師を招き、事業再生手法の研修会を開催しました。(17年10月) ・融資実務担当者に対して、再生支援に向けた改善計画書作成手順の説明と企業再生の成功事例を紹介する研修会を開催しました。(17年11月)	・営業店長や融資実務担当者等に対し、総合的な企業再生等の研修会を開催しました。 ・外部講師を招き、「企業再生業務・RCCの活用」「CLO」「DES」「DDS」について、営業店長、本部融資担当者を対象とした研修会を開催し、レベルアップを図りました。 ・成功事例を収集し活用する事により、融資実務担当者のスキルアップに努めていきます。また蓄積したデータの中から特色ある成功事例をホームページに開示する予定です。
(4) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進等			
①担保・保証に過度に依存しない融資の推進	・創業・新事業支援商品「新進企営」実績 21件 164百万円 ・第三者保証なしの「サポートファンド保証」実績 128件 1,959百万円 ・保証極度額（新保証制度）の設定基準について研修会を開催しました。(17年6月、11月)	・創業・新事業支援商品「新進企営」実績 11件 107百万円 ・第三者保証なしの「サポートファンド保証」実績 92件 1,427百万円 ・保証極度額（新保証制度）設定基準の適正な運用を目的とした研修会を開催しました。(17年11月)	・「新進企営」は今後も創業・新事業へのアドバイス・相談等のマインドを高め、一層の推進を図っていきます。 ・第三者保証なしの「サポートファンド保証」を継続して推進します。 ・新保証制度の主旨、保証極度額の設定基準等について適正な運用の指導を継続していきます。 ・一般事業融資に財務制限条項を適用するには、運用、システム対応等に課題があり、導入に向けて検討を継続していきます。
②中小企業の資金調達手法の多様化等	・売掛債権担保貸付融資 実績 12件 110百万円 (獲得実行額 37件 573百万円) ・私募債 実績 1件 100百万円 ・きんしん北陸税理士会提携ローン 実績 4件 34百万円 ・TKC経営者ローン 実績 4件 24百万円 ・シンジケートローン 実績 2件 223百万円 ・協調融資 実績 2件 390百万円	・売掛債権担保貸付融資 実績 10件 103百万円 (獲得実行額 18件 252百万円) ・私募債 実績 1件 100百万円 ・きんしん北陸税理士会提携ローン 実績 2件 14百万円 ・TKC経営者ローン 実績 1件 1百万円 ・シンジケートローン 実績 2件 223百万円 ・協調融資 実績 2件 390百万円	・売掛債権担保貸付融資制度の推進については、目標を上回る実績であり、今後も継続的に取組みます。 ・私募債の推進については、利用促進に取組みましたが低調な実績でした。適債要件の拡大により対象企業先も増加し、提案力等の強化を図り積極的に取組む方針です。 ・「きんしん北陸税理士会提携ローン」「TKC経営者ローン」の推進については第三者保証人を必要としない融資制度として積極的に取組みます。 ・シンジケートローンについては2件の実績で、今後も他金融機関と連携し積極的に取組みます。

項 目	17年4月～18年3月の進捗状況		進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題
	17年10月～18年3月の進捗状況		
(5) 顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化	<p>(お客様への説明態勢の整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「与信取引の説明事項のチェック表」を改訂し、「説明者と異なる者が事前にチェックする項目」や「説明をした日時や状況を記入する欄」を作るなど相互牽制機能を整え、不適切な取扱いを防止することとしました。(18年3月) <p>(苦情案件等の処理について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付けた苦情案件等については、発生要因を分析し、「不祥事件対策委員会」「事務リスク委員会」等で未然防止、再発防止策を検討しました。 ・苦情案件等の再発防止に向けた取組みについては、営業店の臨店指導やコンプライアンス研修会を開催しました。 ・コンプライアンス担当責任者研修、コンプライアンス・オフィサー研修を4回開催しました。(17年5月、9月、10月、18年3月) ・「ご意見箱」「目やす封書」を全営業店に設置し、お客様の幅広いご意見を業務に適切に反映させています。 ・「地域金融円滑化会議」に出席しました。(17年9月、18年2月) <p>第9回、第10回 議題「各業界団体から寄せられた苦情・相談等事例の分析対応・処理状況等の報告」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全部店に法令遵守態勢の強化策や再発防止策の実施状況を知らせるため、「コンプライアンス便り」を発行しました。(18年2月) 	<p>(お客様への説明態勢の整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「与信取引の説明事項のチェック表」を改訂し、「説明者と異なる者が事前にチェックする項目」や「説明をした日時や状況を記入する欄」を作るなど相互牽制機能を整え、不適切な取扱いを防止することとしました。(18年3月) <p>(苦情案件等の処理について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス担当責任者研修、コンプライアンス・オフィサー研修を2回開催しました。(17年10月、18年3月) ・「地域金融円滑化会議」に出席しました。(18年2月) <p>第10回 議題「各業界団体から寄せられた苦情・相談等事例の分析、対応・処理状況等の報告」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全部店に法令遵守態勢の強化策や再発防止策の実施状況を知らせるため、「コンプライアンス便り」を発行しました。(18年2月) 	<p>(お客様への説明態勢の整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当金庫では、お客様に契約書(約定書)を署名頂く場合は、原則、面前でご本人の確認、保証意思の確認、契約のご説明をしたうえで、署名捺印を頂いています。その際、説明漏れが無いように「チェック表」を活用して、不適切な取扱いを防ぐように努めています。 <p>今後、お客様が契約書の「重要な項目」が一目で分かるような「重要事項の説明書」の作成や個別契約書のない「手形割引」や「手形貸付」について、契約条件を記載した書面をお渡しする事を予定しています。</p> <p>(苦情案件等の処理について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全部店に苦情案件等の発生事例を開示し、再発防止のための「コンプライアンス便り」を18年度上期以降定期的に発行するように準備を進めています。 ・コンプライアンス担当責任者研修、コンプライアンス・オフィサー研修を定期的に開催して苦情事例の開示を行い、職員の問題意識や対応能力を高め再発防止を図っています。
(6) 人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸地区信用金庫協会主催の「企業ランクアップ講座」、「融資渉外講座」、「企業分析講座」に各々2名が参加しました。(17年5月～10月) ・中小企業大学の入学試験に2名受験しました。(17年7月) ・庫内講師が中小企業再生に関する研修会を開催しました。(17年11月) ・経営改善セミナーを開催し21名が「経営支援アドバイザー(当金庫認定)」資格を取得しました。(18年3月) ・新たに3名の職員が中小企業診断士の資格を取得しました。 ・中小企業診断士資格取得のための通信講座を2名が受講中です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・庫内講師が中小企業再生に関する研修会を開催しました。(17年11月) ・経営改善セミナーを開催し21名が「経営支援アドバイザー(当金庫認定)」資格を取得しました。(18年3月) ・新たに3名の職員が中小企業診断士の資格を取得しました。 ・中小企業診断士資格取得のための通信講座を2名が受講中です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度の自己啓発ガイドの内容を見直し、企業支援能力向上に繋がる講座の充実を検討します。 ・経営改善セミナーでは講師による受講者への積極的な指導を行い、「経営支援アドバイザー(当金庫認定)」資格取得者総勢68名を養成し、経営改善の組織態勢の強化を図りました。 ・北陸地区信用金庫協会主催の研修には若手職員が主に参加し、経営改善支援・「目利き」能力向上に努めました。 ・中小企業診断士試験1次合格者に対しては、中小企業大学校入学試験受験を斡旋します。

項 目	17年4月～18年3月の進捗状況		進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題
	17年10月～18年3月の進捗状況		
2. 経営力の強化			
(1) リスク管理態勢の充実	<p>(信用リスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大口先の与信ポートフォリオの分析の項目及び書式を定め、解析を行いました。また、大口先だけではなく当金庫の与信全体に対するポートフォリオの分析も行い、大口与信先のポートフォリオの分析は年2回(4月、10月)、与信全体に対するポートフォリオの分析は年4回(4月、7月、10月、1月)常務会に報告しました。 <p>(市場リスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> 金利リスク及び価格変動リスク等の市場関連主要リスクに係る「市場関連リスク主要指標推移表」を作成して、これらを一元的に管理し、市場リスク委員会で検証を行っています。 <p>(オペレーショナルリスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務リスク委員会にオペレーショナルリスクの概要を説明しました。損失データを収集・蓄積するために直接損失と間接損失に分類し、さらに間接損失を対応費用と機会損失に分類して計測が可能かを検討しています。 <p>(統合リスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> 信用リスク及び市場関連リスクはVaRで、オペレーショナルリスクは新BIS基準の基礎的指標手法でそれぞれリスク限度額を算出するとともに、18年度の統合リスク管理の導入に向け、リスク資本の配賦方法及びストレステストについて検討を行いました。 <p>(バーゼルⅡ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準的手法で17年3月期の信用リスクアセット額を算出し、自己資本比率に及ぼす影響を検証しました。 	<p>(信用リスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大口与信先のポートフォリオの分析は下期1回、与信全体のポートフォリオの分析は下期2回常務会に報告しました。 <p>(オペレーショナルリスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> 損失データを収集する際には直接損失と間接損失に分類し、さらに間接損失を対応費用と機会損失に分類して計測が可能かを検討しています。 <p>(統合リスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> 18年度の統合リスク管理の導入に向け、リスク資本の配賦方法及びストレステストについて検討を行いました。 <p>(バーゼルⅡ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準的手法で17年3月期の信用リスクアセット額を算出し、自己資本比率に及ぼす影響を検証しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 信用リスク管理は18年度以降、「内部格付制度に基づく信用リスク管理の高度化」に向け取り組みます。 統合リスク管理は17年度は試行の段階でしたが、18年度には導入を目指します。
(2) 収益管理態勢の整備と収益力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 蓄積した倒産確率データを整理・分析し、リスク管理、収益管理に活用する準備を行っています。 18年度導入に向け、「リスク調整後収益管理システム」の設計・開発を行っています。 経営改善計画書等の活用によりお客様への指導・支援を強化した結果、14件のランクアップがありました。 信用格付の区分を見直し企業格付制度の再構築を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 信用格付の区分を見直し企業格付制度の再構築を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 業種別、格付別、地区別等のセグメント毎に「リスク調整後収益」を分析し、収益管理の充実を図ります。またシステムの仕様書作成や営業店指導を実施・徹底することも課題です。 企業格付の細分化をベースに、企業格付と自己査定との整合性を高めていきます。

項 目	17年4月～18年3月の進捗状況		進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題
		17年10月～18年3月の進捗状況	
(3) ガバナンスの強化			
①総代会の機能強化に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・総代氏名のディスクロージャー誌への開示にあたり、個人情報保護法に留意し「利用目的の同意書」の徴求を行いました。(全総代163名より徴求) ・「会社法施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（会社法等）」の施行を踏まえて4月に17年度決算に係る通常総代会の招集手続きを開始し、会社法施行前の信用金庫法に基づいて18年度通常総代会を開催することになります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「会社法施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（会社法等）」の施行を踏まえて4月に17年度決算に係る通常総代会の招集手続きを開始し、会社法施行前の信用金庫法に基づいて18年度通常総代会を開催することになります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「利用目的の同意書」の主旨について総代にご理解を頂き、当初の計画通り実施しました。 ・「会社法施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（会社法等）」の施行に伴う信用金庫法の一部改正により、「書面による議決権行使」、「電磁的方法による議決権行使」、「総会招集の手続きの変更」、「監事の任期変更」等の検討が今後の課題です。
②半期の開示	<ul style="list-style-type: none"> ・18年3月期における半期情報を、11月に店頭及びホームページにて開示しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同 左 	<ul style="list-style-type: none"> ・17年度に係る半期情報開示に貸出金業種別内訳を開示しました。18年度に係る半期情報開示は、さらに分かりやすくかつ内容をより充実します。
③財務内容の適正性の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・「財務諸表に係る情報開示要領」を作成しました。(18年3月) ・担当各部の作業フロー表、チェックリスト、及び確認書を作成しました。(18年3月) ・内部監査を実施し、財務諸表の適正性を監査しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「財務諸表に係る情報開示要領」を作成しました。(18年3月) ・担当各部の作業フロー表、チェックリスト、及び確認書を作成しました。(18年3月) ・内部監査を実施し、財務諸表の適正性を監査しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当各部での検証能力の向上を図り、適切かつ速やかな検証を実施します。 ・確認事項の重点化を図り、明確な検証態勢を構築します。 ・財務諸表の作成に留まらず、各種報告、外部提出書類等にも同様の検証態勢を構築し、内部監査の有効性を図ります。

項 目	17年4月～18年3月の進捗状況		進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題
	17年10月～18年3月の進捗状況		
(4) 法令遵守（コンプライアンス） 態勢の強化			
①営業店に対する法令等遵守状況 の点検強化等	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンプライアンス等小委員会」を3回開催しました。(17年4月、7月、10月) ・代表役員3名が年間で2回全営業店を訪問し、直接職員と意見交換を行い、コンプライアンスに関する認識を高めるための指導を行いました。 ・ACO（アシスタントコンプライアンスオフィサー）・SCO（シニアコンプライアンスオフィサー）の資格取得と人材育成について 取得実績 17年度上期 SCO15名 ACO10名 合計25名取得 17年度下期 SCO12名 ACO14名 合計26名取得 ・コンプライアンス担当責任者研修、コンプライアンス・オフィサー研修を4回開催しました。(17年5月、9月、10月、18年3月) ・コンプライアンスに関する臨店指導を年2回行い、研修の実施状況、「情報・相談ごと連絡票（事務ミスを含む）」の運用状況等の検証と指導を行いました。 ・「心の問題」のケア対策については、当金庫職員と外部委託した「産業カウンセラー」2名で全営業店を一巡し、個人面接によるカウンセリングを実施しました。(17年6月～9月) ・各部署毎に「コンプライアンス・マニュアル」を策定しました。(17年6月) ・「指定休暇時の業務監査」については立会人を設け、厳格に実施しています。 ・コンプライアンス態勢強化のために外部コンサルタントを導入し、役職員の意識・風土・組織などのチェックを実施しました。(18年1月～3月) ・18年4月1日施行の「公益通報者保護法」に対応し、「内部通報制度規程」を策定しました。(18年3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンプライアンス等小委員会」を開催しコンプライアンスに関する具体的な問題について検討しました。(17年10月) ・代表役員3名が下期にも全営業店を訪問し、直接職員と意見交換を行い、コンプライアンスに関する認識を高めるための指導を行いました。 ・ACO（アシスタントコンプライアンスオフィサー）・SCO（シニアコンプライアンスオフィサー）の資格取得と人材育成について 取得実績 17年度下期 SCO12名 ACO14名 合計26名取得 ・コンプライアンス担当責任者研修、コンプライアンス・オフィサー研修を2回開催しました。(17年10月、18年3月) ・今年度2回目のコンプライアンスに関する臨店指導を行い、研修の実施状況、「情報・相談ごと連絡票（事務ミスを含む）」の運用状況等の検証と指導を行いました。(18年2月～3月) ・「指定休暇時の業務監査」については立会人を設け、厳格に実施しています。 ・コンプライアンス態勢強化のために外部コンサルタントを導入し、役職員の意識・風土・組織などのチェックを実施しました。(18年1月～3月) ・18年4月1日施行の「公益通報者保護法」に対応し、「内部通報制度規程」を策定しました。(18年3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンプライアンス等小委員会」3回開催し、具体的な問題について検討しました。引き続き本委員会を活用していきます。 ・代表役員の営業店訪問によって、代表役員と職員の一体感とコンプライアンスに対する意識が高まりました。今後も継続して実施します。 ・コンプライアンス担当責任者研修、コンプライアンス・オフィサー研修では、苦情事例の開示を行い職員の問題意識や対応能力を高め再発防止を図りました。 ・コンプライアンスに関する臨店指導については、引き続き実態を把握し効果的な指導を実施する計画です。 ・各部署毎の「コンプライアンス・マニュアル」の内容の検証と指導を行い、各業務についての監査やリーガルチェック機能の充実を図っていきます。 ・外部コンサルタントによる役職員の意識・風土・組織などのチェックの実施結果報告をもとに、金庫のコンプライアンス態勢の改善と強化に取り組んでいます。 ・18年4月1日施行の「公益通報者保護法」に対応し、通報者の保護、法令違反・不正行為による不祥事件の早期発見と防止等を目的に「内部通報制度規程」を制定し、その内容についても全職員に説明会を実施し浸透を図ります。

項 目	17年4月～18年3月の進捗状況		進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題
		17年10月～18年3月の進捗状況	
②適切な顧客情報の管理・取扱いの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報管理台帳を全部店で作成しました。 ・個人情報管理態勢に係る一斉点検を実施しました。 ・「個人情報監査チェックシート」を作成し、これを基に個人情報管理態勢に係る監査を総合監査の一環として実施しました。 ・私物カバンの執務スペース内への持込を禁止しました。 ・カメラ付携帯電話の執務スペース内での使用を禁止しました。 ・携帯電話へのお客様情報の登録を原則禁止しました。 ・個人情報に係る事務取扱いの「Q & A」を作成し、各部店で常時閲覧可能なものにしました。 ・パソコンのアクセスログの管理・分析を毎月行っています。 ・外部へ発信するメールはすべて本部にて集中監視を行っています。 ・全職員（パート・契約・派遣職員含）を対象に個人情報保護研修を実施しました。(17年11月) ・文書保存規定を全面的に見直し、個人情報保護を盛り込んだ「文書取扱規定」を整備しました。(18年1月) ・FAX誤送信防止のためのシステム機器を決定しました。18年6月までには同システムの稼働が可能となります。 ・個人データ（BO：ビジネスオブジェクト）へのアクセスにはパスワード入力を必須とし、同パスワードは部店長管理としました。 ・暗号化した専用フォルダを設置し、パソコン上の個人情報を含むファイルを同フォルダに保管しました。 ・業務委託先について個人情報管理態勢の再調査を行い、安全管理態勢の確認を行いました。(18年1月～3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員（パート・契約・派遣職員含）を対象に個人情報保護研修を実施しました。(17年11月) ・文書保存規定を全面的に見直し、個人情報保護を盛り込んだ「文書取扱規定」を整備しました。(18年1月) ・FAX誤送信防止のためのシステム機器を決定しました。18年6月までには同システムの稼働が可能となります。 ・個人データ（BO：ビジネスオブジェクト）へのアクセスにはパスワード入力を必須とし、同パスワードは部店長管理としました。 ・暗号化した専用フォルダを設置し、パソコン上の個人情報を含むファイルを同フォルダに保管しました。 ・業務委託先について個人情報管理態勢の再調査を行い、安全管理態勢の確認を行いました。(18年1月～3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護に係る安全管理態勢は概ね整備されたと思われますが、今後も不十分な点の改善や全職員に対する継続的な教育・研修を通じて漏洩事故防止と個人情報管理態勢の強化に努めます。

項 目	17年4月～18年3月の進捗状況		進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題
		17年10月～18年3月の進捗状況	
(5) ITの戦略的活用	<p>(次期システムの導入)</p> <p>18年5月8日の稼動日を9月19日に延期することになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインプログラムは17年9月に要件定義がほぼ終了しました。 ・17年7月から打ち込みテスト及び結合テストが始まり、9月から当金庫側での端末検証を実施していますが、稼動後の万全の態勢を期すため、当初稼動予定日を延期して更なる検証を続けることにしました。 ・17年9月に還元帳票の確認レビューを終了しましたが、オンラインプログラムの検証の遅れにより、資料の出力が遅延しています。 ・17年8月より口座振替のテストを実施しました。全委託者テストの完了に向け、スケジュールどおり推進しています。 ・17年6月よりデータベース移行のテストを実施しています。 ・端末研修は担当者別に集合研修を実施しています。 <p>(渉外支援システムの更改)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・17年6月から一般渉外係向けに携帯情報端末を5店舗に展開し、試行しました。 ・17年7月下旬から9月上旬にかけて全店に携帯情報端末を順次展開し、10月より本格稼動しました。 <p>(通信回線の速度アップとバックアップ回線敷設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次期システムを踏まえ、勘定系回線と情報系回線の統合に向け17年12月までに現行の情報系回線を広域イーサネットに切替えました。18年4月までにバックアップ回線の敷設を完了しました。 <p>(情報系サーバの更改)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・18年2月に新しいサーバを導入し、ソフトのバージョンアップに伴うテストを重ねております。 	<p>(次期システムの導入)</p> <p>18年5月8日の稼動日を9月19日に延期することになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・17年9月からオンラインプログラムの当金庫側での端末検証を実施していますが、稼動後の万全の態勢を期すため、当初稼動予定日を延期して更なる検証を続けることにしました。 ・17年9月に還元帳票の確認レビューを終了しましたが、オンラインプログラムの検証の遅れにより、資料の出力が遅延しています。 ・全委託者テストの完了に向け、スケジュールどおり推進しています。 ・データベース移行のテストを実施しています。 ・端末研修は担当者別に集合研修を実施しています。 <p>(通信回線の速度アップとバックアップ回線敷設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次期システムを踏まえ、勘定系回線と情報系回線の統合に向け17年12月までに現行の情報系回線を広域イーサネットに切替えました。 ・18年4月までにバックアップ回線の敷設を完了しました。 <p>(情報系サーバの更改)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・18年2月に新しいサーバを導入し、ソフトのバージョンアップに伴うテストを重ねております。 	<p>(次期システム導入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次期システムの移行については万全を期しており、品質の向上を目指して人員増強とサポートの強化を図っています。本部各部ではリスク回避に向け、監督指針に沿った検証体制を見直しています。 ・端末操作要領及び事務取扱要領を作成し、端末操作や事務面のレベルアップを図っています。また、共同アウトソーシングのコスト削減のメリットが十分に発揮できるよう提携信用金庫と協議を重ねています。 ・今後、集合研修を継続するとともに営業店での分散研修も追加して、端末操作や事務面でのレベルアップを図っていきます。 <p>(通信回線の速度アップとバックアップ回線敷設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次期システムの導入時に勘定系回線を広域イーサネットに切替えていきます。 <p>(情報系サーバの更改)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新サーバへの切替えと試行を進めていきます。
(6) 協同組織中央機関の機能強化	<ul style="list-style-type: none"> ・信金中央金庫の「経営効率分析」を受けて、自己資本、資産内容、経営基盤の内容を、全国（規模別）及び北陸地区の指標との対比により分析を行いました。(17年10月) ・信金中央金庫の「ポートフォリオ分析」について、代表役員等を交えた意見交換会を実施しました。(17年11月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・信金中央金庫の「経営効率分析」を受けて、自己資本、資産内容、経営基盤の内容を、全国（規模別）及び北陸地区の指標との対比により分析を行いました。(17年10月) ・信金中央金庫の「ポートフォリオ分析」について、代表役員等を交えた意見交換会を実施しました。(17年11月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も信金中央金庫の情報を有効に活用し、幅広い分野で連携を図っていきます。

項 目	17年4月～18年3月の進捗状況		進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題
		17年10月～18年3月の進捗状況	
3. 地域の利用者の利便性向上			
(1) 地域貢献等に関する情報開示			
①地域貢献に関する情報開示	<ul style="list-style-type: none"> ・ ISO認証取得と「賑わい回廊ミュージアムきんしん」についてディスクロージャー誌に掲載しました。(17年8月) ・ ISO認証取得の仲介業務等の内容をホームページに開示しました。(17年11月) ・ 「きんしんISO認証取得支援ローン」の内容をホームページに開示しました。(18年1月) ・ 「エコ住宅」ローンの内容をホームページに開示しました。(18年1月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ISO認証取得の仲介業務等の内容をホームページに開示しました。(17年11月) ・ 「きんしんISO認証取得支援ローン」の内容をホームページに開示しました。(18年1月) ・ 「エコ住宅」ローンの内容をホームページに開示しました。(18年1月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページに「環境方針」として融資商品の開発等の基本方針を公表し、それに沿った融資商品等のサービス提供ができました。 ・ 企業の社会的責任も踏まえ、地域貢献等に関する情報開示を積極的に開示します。
②充実した分かりやすい情報開示の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境方針等、環境保全に関する金融サービスの提供をホームページに開示しました。(17年5月) ・ 地域貢献活動の内容をミニディスクロージャー誌に開示しました。(17年6月) 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境に関する基本理念、基本方針を「環境方針」として公表しています。 ・ 地域貢献に関する開示についてはミニディスクロージャー誌にリレーションシップバンキングの取組みの概要を掲載しました。
(2) 地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ご意見箱」「目やす封書」に寄せられたご意見を職員に開示しました。(17年5月) ・ 「お客様満足度に関するアンケート調査」を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ①調査実施日 平成18年2月10日～24日 ②調査対象者 当金庫とお取引のあるお客様約4,700名(無作為抽出) ③調査方法 郵送及びEメール ④回答数 781件(有効回答者の回収率 約17%) ⑤調査委託業者 (株)ベンチャー・リンク(東証1部上場) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「お客様満足度に関するアンケート調査」を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ①調査実施日 平成18年2月10日～24日 ②調査対象者 当金庫とお取引のあるお客様約4,700名(無作為抽出) ③調査方法 郵送及びEメール ④回答数 781件(有効回答者の回収率 約17%) ⑤調査委託業者 (株)ベンチャー・リンク(東証1部上場) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月「ご意見箱」「目やす封書」に寄せられたご意見を職員に開示し、業務改善に取組んでいます。 ・ 「お客様満足度に関するアンケート調査」の結果を分析し、ホームページに開示してお客様のご意見をより経営に反映させる仕組みを構築します。

項 目	17年4月～18年3月の進捗状況		進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題
	17年10月～18年3月の進捗状況		
(3) 地域再生推進のための各種施策との連携等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商工(会)会議所等との提携ローン取扱いについては以下の通り実施しました。 17年7月取扱開始 <ul style="list-style-type: none"> 金沢商工会議所提携ローン 白山商工会議所提携ローン 小松商工会議所提携ローン 加賀商工会議所提携ローン 17年8月取扱開始 <ul style="list-style-type: none"> 砺波商工会議所提携ローン 石川県商工会連合会提携ローン 17年9月取扱開始 <ul style="list-style-type: none"> 富山県商工会連合会提携ローン ・ 「石川県産業革新戦略」についての認識高揚についての研修会を開催しました。 演題 『石川県産業革新戦略 石川県地域経済圏構想 ～内なる高度集積と外への飛躍的展開～』 講師 石川県商工労働部 ・ 石川県産業創出支援機構主催の「石川県産学連携コーディネート協議会」へオブザーバーとして参加しました。(17年7月、11月) ・ 中部経済産業局等主催の「北陸地域新連携事業意見交換会」へ参加しました。(17年8月) ・ 石川県主催の「温新知故産業創出プロジェクト」キックオフ記念講演会に参加しました。(17年10月) ・ 北陸ものづくり創生協議会主催の「第一回ビジネスマッチングフェア」を視察しました。(17年11月) ・ (財)金沢コンベンションビューロー主催の「観光コンベンション塾」に参加しました。(17年12月、18年1月、2月、3月) ・ 北陸ものづくり創生協議会主催の「ライフケア産業振興セミナー」に参加しました。(18年1月) ・ 「金沢都市圏におけるITを活用した総合的な交通システムに関する検討委員会」にオブザーバー参加しました。(18年2月、3月) ・ 加賀市等主催の「新生加賀市における観光交流推進講演会」に参加しました。(18年2月) ・ 中部経済産業局主催の「企業ブランド戦略セミナー」に参加しました。(18年3月) ・ 石川県主催の「元気フォーラム」に参加しました。(18年3月) ・ 経済産業省等主催の「北陸地域知的財産戦略セミナー」に参加しました。(18年3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 石川県主催の「温新知故産業創出プロジェクト」キックオフ記念講演会に参加しました。(17年10月) ・ 中部経済産業局等主催の「石川県産学連携コーディネート協議会」へオブザーバーとして参加しました。(17年11月) ・ 北陸ものづくり創生協議会主催の「第一回ビジネスマッチングフェア」を視察しました。(17年11月) ・ (財)金沢コンベンションビューロー主催の「観光コンベンション塾」に参加しました。(17年12月、18年1月、2月、3月) ・ 北陸ものづくり創生協議会主催の「ライフケア産業振興セミナー」に参加しました。(18年1月) ・ 「金沢都市圏におけるITを活用した総合的な交通システムに関する検討委員会」にオブザーバー参加しました。(18年2月、3月) ・ 加賀市等主催の「新生加賀市における観光交流推進講演会」に参加しました。(18年2月) ・ 中部経済産業局主催の「企業ブランド戦略セミナー」に参加しました。(18年3月) ・ 石川県主催の「元気フォーラム」に参加しました。(18年3月) ・ 経済産業省等主催の「北陸地域知的財産戦略セミナー」に参加しました。(18年3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種セミナー等で情報収集、情報交換、知識習得等をしてはいますが、地域の活性化と再生に活用できるよう継続していく必要があると思われます。また、各種提携ローンのトレースも行っていきます。 ・ 金沢星稜大学専門ゼミナールを山中温泉に誘致・コーディネートする予定です。 ・ 中小企業基盤整備機構とセミナーや出張相談等の業務連携について意見交換会を実施する予定です。 ・ 北陸経済の動向や地場産業・大学の成果事例等の情報収集及び交流を目的として、北陸経済連合会主催の北陸SCTサロンに参加する予定です。